

令和4年度京都支部事業実施報告について

1. 令和4年度京都支部重点事業実施結果 … P 1
2. 令和4年度京都支部K P I達成状況 … P 2～P 1 8
3. 評議会における支部保険者機能強化予算の
策定スケジュール … P 1 9

令和5年7月18日
令和5年度 第1回評議会

1. 令和4年度京都支部重点事業実施結果

※評価は、K P I の達成度合いを
3段階 (◎○△) で表示

◎：完全達成 ○：概ね達成 △：未達成

項目	評価	頁	担当 グループ
1. サービス水準の向上	△	3	業務 グループ
2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化	◎	4	
3. 被扶養者資格の再確認の徹底	◎	5	
4. 効果的なレセプト内容点検の推進	◎	7	レセプト グループ
5. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進	◎	8	
6. 特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上	○	10	保健 グループ
7. 特定保健指導の実施率及び質の向上	△	11	
8. 重症化予防対策の推進	△	12	
9. コラボヘルス（健康経営）の推進	◎	14	企画総務 グループ
10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	◎	15	
11. ジェネリック医薬品の使用促進	◎ _(※)	16	
12. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信	◎	17	
13. 費用対効果を踏まえたコスト削減等	◎	18	

(※)令和5年2月実績をもとに評価

業務グループ

令和5年度の事業課題

令和5年1月より稼働中の新業務システムによる業務の効率化を最大限に発揮するために給付金及び適用関係申請書等の様式変更について、令和5年9月末までに新様式に完全に切り替えることを目的に広報・文書による切り替え勧奨等の取り組みを進める。

1. サービス水準の向上

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>① サービススタンダードの達成状況を100%とする</p> <p>② 現金給付等の申請に係る郵送化率を95.5%以上とする</p>	<p>① 100% サービススタンダードの達成状況を100%とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 95.5%以上 現金給付等の申請に係る郵送化率を95.5%以上とする ※支部ごとに設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">評価 △</div> <p>① 99.99% (全国44支部達成 全国平均99.9%)</p> <p>② 94.5% (全国 27位 全国平均 95.7%)</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>①100% (全国39支部達成：99.92%)</p> <p>②91.6% (全国17位)</p>	<p>①100% (全国46支部達成：99.5%)</p> <p>②93.9% (全国22位)</p>	<p>①100% (全国44支部達成：99.9%)</p> <p>②94.7% (全国25位)</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<p>① サービススタンダード対象の申請書においては、新型コロナウイルス感染症の影響で傷病手当金の受付件数が前年度比約18,000件増加(48.3%増)する状況の中で、進捗管理を徹底し、目標達成に努めたが、申請情報の端末への取り込み漏れが判明し超過が発生した。受付から振り込みまでに要する平均日数は7.52日であった。(全国平均 8.17日)</p> <p>② 支部ホームページやメールマガジン等で広報するとともに、電話での案内時にも郵送での手続きを推奨することで取り組みを実施したが、前年度の郵送化率(94.7%)及び目標には及ばなかった。</p>		<p>① 新システムにおける自動審査機能を活用することで、受付から振り込みまでのサイクルの短縮を図るとともに、受付件数の増加にも柔軟に対応できるよう、また、処理漏れ等が発生しないよう、引き続き徹底した進捗管理を行うことで、サービス水準の向上を図る。</p> <p>② 今年度予定されている支部移転に伴う周知・広報活動に合わせて、郵送での手続き案内を積極的に実施するとともに、関係団体に対して働きかけを行うことにより、郵送化率向上を目指す。</p>

2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上<small>の</small>施術の申請の割合について対前年度以下とする</p>	<p>1.12%以下 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上<small>の</small>施術の申請の割合について対前年度以下とする ※全支部一律に設定</p>	<p style="text-align: right;">評価 ◎</p> <p>1.04% (全国43位 全国平均0.86%)</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>1.16% (全国38位) 全国平均1.12%</p>	<p>1.28% (全国39位) 全国平均1.12%</p>	<p>1.12% (全国41位) 全国平均0.95%</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 申請件数について、令和4年度は前年度と比較して約4,000件減少しており、割合としては0.9%減となっている。一方、3部位15日以上<small>の</small>施術については、件数が前年度から約8%減少したことで、全申請書に占める割合が前年度比0.08%減となり目標達成に至った。(令和5年2月末時点) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度においても、加入者への施術内容の照会を継続して実施し、適正な施術内容となるよう啓発を進める。 ● また、申請内容に疑義のある施術所に対しては文書指摘を行い、改善が見られない場合等については面接確認も視野に入れつつ、不正請求の抑止に努める。

3. 被扶養者資格の再確認の徹底

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を93.4%以上とする	<u>93.4%以上</u> 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を93.4%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 93.46% (全国22位 全国平均92.27%)
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
90.3% (全国39位) 全国平均91.3%	92.3% (全国26位) 全国平均91.3%	92.7% (全国20位) 全国平均91.3%
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者状況リスト未提出の事業所への催告について、文書による勧奨や支部独自で規模別・業態別に電話による勧奨を2回実施することで、目標を達成した。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の提出状況、及び勧奨内容と時期をあらためて分析し、有効な手段を立案することにより今年度も目標達成を目指す。

レセプトグループ

令和5年度の事業課題

- ・ 支払基金の業務効率化・高度化の状況を踏まえ連携を強化し査定率向上
- ・ レセプト点検員のスキルアップとシステムを活用した効率的な点検
- ・ 保険証未回収者への早期返納催告と日本年金機構と連携した事業所への周知
- ・ 債権の早期回収と保険者間調整の積極的な実施

4. 効果的なレセプト内容点検の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>① 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率(※)について対前年度以上とする</p> <p>(※) 査定率 = $\frac{\text{レセプト点検により査定(減額)した額}}{\text{協会けんぽの医療費総額}}$</p> <p>② 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする</p>	<p>① <u>0.354%以上</u> 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p> <p>② <u>6,081円以上</u> 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">評価 ◎</div> <p>① 合計 0.368% (全国13位) 基金 0.264% (全国6位) 協会 0.103% (全国27位)</p> <p>② 7,146円 (全国18位)</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>① 合計 0.354% (全国18位) 基金 0.277% (全国15位) 協会 0.078% (全国34位)</p> <p>② 3,258円 (全国35位)</p>	<p>① 合計 0.351% (全国13位) 基金 0.277% (全国8位) 協会 0.074% (全国37位)</p> <p>② 5,657円 (全国19位)</p>	<p>① 合計 0.354% (全国17位) 基金 0.269% (全国8位) 協会 0.085% (全国29位)</p> <p>② 6,081円 (全国22位)</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<p>内容点検は、①と②共にKPI達成となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度については、協会での査定率が前年度から0.018ポイント上昇、査定金額についても1億4千万円を超えて、近年では最も高い査定率、査定金額となった。レセプト点検員のスキルアップに加えて、特に高額査定を意識して点検したことが結果につながった。 		<ul style="list-style-type: none"> 支払基金改革の状況（ICTを活用した審査事務の効率化や集約化による支部間差異の解消、コンピューターチェックによる審査の拡大等）を見つつ、審査の傾向などの変化に対応していく。また、日常的に支払基金や協会他支部との連携を図り、査定率の向上を目指す。さらに、レセプト点検員は支払基金の審査の動向を注視し、より広い観点で点検するとともに、引き続き高額査定を意識してKPI達成を目指す。

5. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする</p> <p>②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする</p>	<p>① 85.21%以上 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p> <p>② 63.80%以上 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする ※全支部一律に設定</p>	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価 ◎</div> <p>① 合計：87.56% (全国 38位 全国平均 86.27%) 一般：87.70% (全国 38位 全国平均 86.36%) 任継：84.04% (全国 30位 全国平均 83.51%)</p> <p>② 66.78% (全国 20位 全国平均 54.35%)</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>①合計：90.77% (全国93.04%) 一般：91.28% (全国93.56%) 任継：81.40% (全国81.23%)</p> <p>②75.12% (全国6位)</p>	<p>①合計：89.86% (全国92.41%) 一般：90.25% (全国92.79%) 任継：81.48% (全国82.43%)</p> <p>②66.45% (全国23位)</p>	<p>①合計：85.21% (全国38位 全国84.11%) 一般：85.40% (全国84.20%) 任継：81.10% (全国81.70%)</p> <p>②63.80% (全国27位)</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<p>保険証回収と債権管理は、①と②共にKPI達成となった。</p> <p>① 保険証回収率は事業所への催告や日本年金機構との連携により、順位としては変わらないが回収率が2.35ポイント上昇し、KPI達成となった。</p> <p>② 返納金回収率は、保険者間調整等を積極的に実施し、早期の対応を心掛けた結果、回収率・全国順位ともに前年度を上回ることができた。</p>		<p>① 保険証回収は早期返納催告実施に加え、未返納の多い事業所への電話対応や日本年金機構と連携した周知も実施する。</p> <p>② 返納金回収は、高額債権への早期対応を心掛け、引き続き積極的且つ幅広く保険者間調整を実施する。訪問催告や法的手続き等も実施し債権回収に繋げていく。</p>

保健グループ

令和5年度の事業課題

- 更なる保健事業の充実（生活習慣病予防健診の自己負担軽減等）に連動した健診受診勧奨力の強化
- 特定保健指導実施件数の拡大と、利用案内の標準モデルの確実な実施
- 健診当日短時間面談による受診勧奨の強化

6. 特定健診実施率・事業者健診データ取得の向上

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①生活習慣病予防健診実施率を61.2%以上とする ②事業者健診データ取得率を9.1%以上とする ③被扶養者の特定健診受診率を33.2%以上とする	① 65.1%以上 生活習慣病予防健診実施率を65.1%以上とする ※支部ごとに設定 ② 8.0%以上 事業者健診データ取得率を8.0%以上とする ※支部ごとに設定 ③ 28.6%以上 被扶養者の特定健診受診率を28.6%以上とする ※支部ごとに設定 ①+②+③ 63.1%	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価 ○</div> ① 64.7% (全国16位) ② 6.1% (全国40位) ③ 29.2% (全国15位)
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
①60.3% (全国16位) ② 3.4% (全国46位) ③25.4% (全国26位) ①+②+③ 54.7% (全国31位)	①57.7% (全国20位) ② 7.5% (全国31位) ③22.1% (全国33位) ①+②+③ 55.6% (全国27位)	①61.3% (全国15位) ② 6.0% (全国38位) ③27.1% (全国21位) ①+②+③ 55.9% (全国31位)
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
① 実施機関2機関増、GISを活用したハガキによる個人勧奨(32会場22万件)、付加健診対象等へのマンガ掲載DM勧奨、新規適用事業所等への電話による受診勧奨により昨年度比で実施率を伸ばした。 ② 共済組合の適用拡大による資格喪失により健診機関からのデータ取得件数は減少した。医療業や大規模事業所へ支部長名での提供依頼文書を送付し、事業所からの取得件数は前年度を上回った。新スキームでの提供依頼について広報を実施。 ③ 会場費補助事業による新たな会場や地域での集団健診の拡大(11会場)、GISを活用したハガキによる勧奨(84会場17万3千件)、市町村がん検診との同時実施DM勧奨の連携自治体拡大(既存3市に加え新たに宇治市でも実施)により昨年度比で実施率を伸ばした。		① 既存事業を着実に進め、DM作成時には令和5年度からの自己負担額軽減を最大限PRする。また新規事業として受診率の低い業態や地域固有の健康課題に合わせた文書及び電話勧奨と、12月の事業所宛DM勧奨を実施することで実施率目標達成を目指す。 ② 健診機関との連携強化・業界団体主催の健診実施状況の把握・新スキームの定着を図るため、契約健診機関に対しアンケートを実施。その結果から、業態別のアプローチ等支部勧奨の強化を図る。また、特定保健指導の実施につなげるため、健診機関へ健診実施後の確実な提供および早期提供を定期的に依頼していく。 ③ 過去の健診受診歴パターンにより掲載内容を変更するDM勧奨を新たに実施。また既存事業を着実に進めるとともに、会場費補助事業のリニューアルや骨密度測定付特定健診事業の参加機関拡大により実施率目標達成を目指す。

7. 特定保健指導の実施率及び質の向上

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
①被保険者の特定保健指導の実施率を30.1%以上とする ②被扶養者の特定保健指導の実施率を9.0%以上とする	① 26.2%以上 被保険者特定保健指導の実施率を26.2%以上とする ※支部ごとに設定 ② 18.3%以上 被扶養者特定保健指導の実施率を18.3%とする ※支部ごとに設定 ①+② 25.8%以上	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価 △</div> ① 17.4% (全国34位) ② 15.7% (全国27位) ①+② 17.3% (全国34位)
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
①15.8% ②14.6% ①+② 15.8% (全国37位)	①12.5% ② 7.9% ①+② 12.3% (全国40位)	①17.6% ② 9.2% ①+② 17.2% (全国31位)
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
① 特定保健指導の当日利用についてのポスター等による広報、大規模事業所への訪問や電話等による勧奨を実施。3健診機関と新規契約した。 ② 事業者健診受診者に対する保健指導について、新たに共同利用の確認及び事業所へ案内を行った。利用率は15.8%で、従来の個人宅への勧奨（利用率3%）より増加した結果となった。一方で支部からの指導の利用勧奨目標（月800事業所2,000人）に対して87%の達成率であり、目標到達ができなかった。 ③ 支部及び保健指導専門業者、電話勧奨業者、保健指導継続支援業者のお互いに連携した保健指導の勧奨から実施に向けて、関係者会議を行い、ノウハウの共有を図った。 ④ オプション付き呼び出し型保健指導については、平日の昼間に参加が行いやすい被扶養者に対象を絞り勧奨を行ったところ、前年度より高い参加率であったが、目標達成には至らなかった。		① 今までは京都適用支部の特定保健指導対象者に対して、保健指導専門機関を活用しながら、居住地が京都府内・府外に問わず本社に一括して案内を行っていた。10月から全国的に生活習慣の地域特性を生かした保健指導を行うため、健診受診地からの訪問案内の実施主体に変更となる。漏れのない案内を行うため目標発件数の達成を意識し、他支部と連携しながら進捗管理や広報を行っていく。 ② また、支部での初回受け入れ率を強化すべく、電話勧奨や大規模事業所、例年受け入れのない事業所（岩盤層）に対する対策を行う。 ③ 対象者が多く初回面談の実施率が低い機関を訪問し、面談件数の向上のための体制強化の必要性を訴求するとともに、施設内及び検診車における初回当日面談の拡大を目指す。

8. 重症化予防対策の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.4%以上とする	<u>12.4%以上</u> 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.4%以上とする ※支部ごとに設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 △</div> 9.3%(全国29位)
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
10.2% (全国27位)	9.5% (全国37位)	8.9% (全国39位)
令和4年度実績・評価	令和5年度の事業展開	
<p>トータルヘルスケアサポート（健診当日の面談）により、当日に結果が判明する血圧について受診勧奨を必須として実施した。全体のうち約15%は血圧を含めた受診勧奨を行った結果であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 未治療者の受診勧奨通知は、令和4年4月の健診結果に基づく案内からLDLコレステロール高値者が新規に追加された。京都支部は、LDLコレステロール高値者が多く課題であり、ホームページや事業所等を通じた広報を行い、早期の受診勧奨を促すよう対策を検討する。 ● 未治療者の受診勧奨対象者のうち、約85%は翌年度も健診を受けており、医療機関は受診しないが健診は受診している状況である。今年度も引き続き健診当日の面談による受診勧奨が重要な場面であると考え。また、健診直前に再度通知を行い、健診直後の受診を促す新規の事業を実施予定。 	

企画総務グループ

令和5年度の事業課題

- 広報プロジェクト3か年計画最終年度におけるターゲットを絞った多様な広報実施
- データ分析結果に基づく「健康白書」作成と活用
- ジェネリック重点支部として取り組み強化
- 事務室移転の実施

9. コラボヘルス（健康経営）の推進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
健康宣言事業所数を64,000事業所以上とする	860事業所以上 健康宣言事業所数を860事業所以上とする ※ <u>支部ごとに設定</u>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 971事業所 (参考) 健康経営優良法人 282社
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
健康宣言事業所数：458事業所 (参考) 健康経営優良法人：95社	健康宣言事業所数：615事業所 (参考) 健康経営優良法人：160社	健康宣言事業所数：787事業所 (参考) 健康経営優良法人：274社
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 京都府と連携したウォーキング事業、労働局や産業保健総合支援センターと連携したメンタルヘルス研修を実施 ● 健康講座（動画実施もあり）の実施（196社）、健康測定器の貸出（166社）、事業所カルテの配布等のサポート事業実施 ● 事業所規模や取り組み度合いに応じた好事例を事例集として展開することで宣言事業所へのフォローアップを実施 		<ul style="list-style-type: none"> ● サポート事業（事業所カルテ、事例集、健康講座、健康測定器貸出）を活用した宣言勧奨を実施 ● 京都府・自治体・商工三団体・労働局・産業保健総合支援センターと連携したコラボヘルス推進 ● 業界団体（運輸三団体）と連携したコラボヘルスの推進 ● 運動習慣定着に向けた取組の一環として、事業所・自治体・業界団体と連携したモデル事業の実施

10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
<p>全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を48%以上とする</p>	<p><u>47.9%以上</u> 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を47.9%以上とする ※支部ごとに設定</p>	<p style="text-align: right;">評価 ◎</p> <p>48.35% (全国38位)</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>37.9% (全国42位)</p>	<p>41.7% (全国40位)</p>	<p>44.6% (全国38位)</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 健診受診勧奨と併せた委員勧奨を実施することで目標を大幅に上回ることができた。 ● 伸び率は3.75%と前年度2.9%以上の伸びとなったが、全国的には38位ということで更なる委嘱拡大が課題。 ● 健康経営の推進・健康保険制度の理解促進を目的に従来からの研修会に加えて健康保険委員相互の対話による情報交換の場を設けた。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 3か年計画の最終年度となる広報プロジェクト「現在値（いま）を見よう」の沿ったWEB等を活用した多様な広報の実施 ● 事業所の規模など特徴に応じた委員勧奨の実施 ● 健康保険委員表彰、研修会の実施による健康保険委員活動の強化 ● データ分析結果に基づく「健康白書」作成と活用

11. ジェネリック医薬品の使用促進

協会けんぽ全体のKPI	京都支部のKPI	KPIの達成状況
<p>ジェネリック医薬品使用割合80%という目標に向けて、年度末の目標値を支部ごとに設定する。ただし、ジェネリック医薬品使用割合が80%以上の支部については、年度末時点で対前年度以上とする</p>	<p>78.7%以上 ジェネリック医薬品使用割合(*)を78.7%以上とする ※支部ごとに設定</p> <p>* 医科、DPC、歯科、調剤</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> <p>78.8% (全国43位) ※R5.2診療分</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>75.3% (全国43位) R2.3診療分</p>	<p>77.1% (全国43位) R3.3診療分</p>	<p>76.9% (全国43位) R4.3診療分</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 定期広報やWEB広告等を含め、インセンティブ制度の周知と併せた広報を行うことで、ジェネリック医薬品の使用促進を図った。またヘルス博KYOTOにおいて動画広報を令和3年度に引き続いて実施した。 ● KPIについては達成しているが全国平均81.8% (R5.2月診療分) とは3%の開きがあり更なる取り組みが必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 対象年齢を7歳以上と拡大した軽減額通知の実施 ● 新規薬価収載された医薬品に着目した支部独自通知の実施 ● データ分析結果に基づく、ターゲットを絞ったアプローチの実施 (全国平均との乖離が大きい40歳以上、薬局での加入者拒否割合の高さ 等) ● 使用割合へのマイナス影響度が大きい医療機関・薬局への訪問による使用促進協力依頼

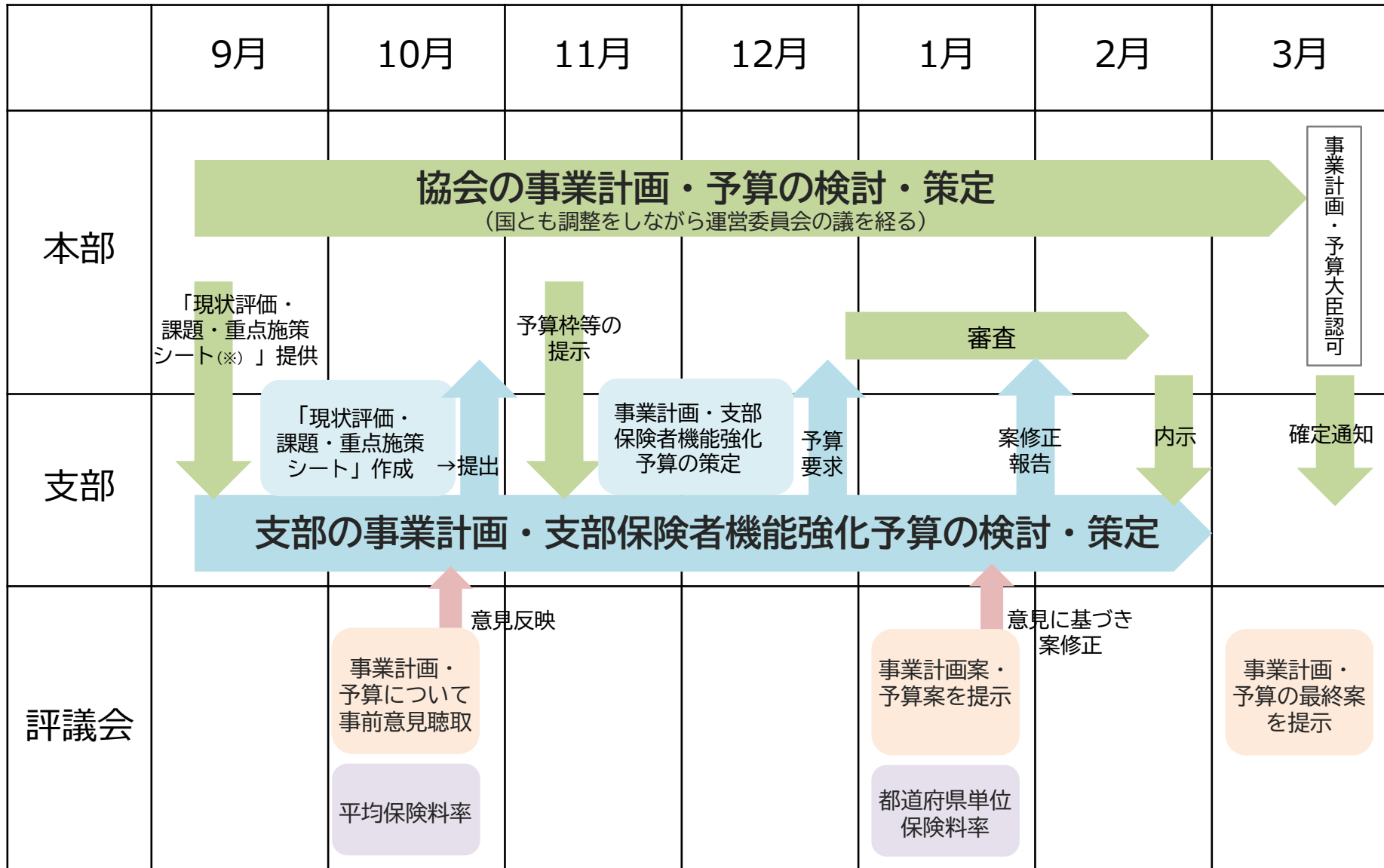
1 2. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P Iの達成状況
<p>効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を、全支部で実施する</p>	<p>意見発信の実施 効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する ※全支部一律に設定</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> <p>意見発信実施</p>
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p>実施</p>	<p>実施なし</p>	<p>意見発信実施</p>
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 丹後地域医療構想調整会議において、協会の持つ健診データでは血圧リスクが高いが外来医療費が低く医療が必要な方が適切に受診していないと見受けられるため、かかりつけ医の機能強化の必要性について意見発信を実施した ● 乙訓地域医療構想調整会議において、①循環器系の疾患が今後増えていくことが推測されており、協会けんぽと京都府で分析している結果ができれば活用していただきたいこと、②血圧・血糖値にかかる受診勧奨事業についての課題等について意見発信を実施した 		<ul style="list-style-type: none"> ● 各種データ分析の結果について、医療審議会や地域医療構想調整会議等で意見発信を実施

13. 費用対効果を踏まえたコスト削減等

協会けんぽ全体のK P I	京都支部のK P I	K P I の達成状況
一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする	20%以下 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする ※全支部一律に設定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価 ◎</div> 6.7% (1/15件) (全国14位)
令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
23.6% (全国27位)	14.3% (全国31位)	0.0% (全国1位)
令和4年度実績・評価		令和5年度の事業展開
<ul style="list-style-type: none"> ● 可能な限り多くの事業者が参加できるよう仕様書の見直しを図り、他支部の調達情報を活用することで参加可能な事業者への声掛けを行うことで一者応札の削減を図った 		<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き競争参加に向け事業者への声掛けを徹底することにより、多くの事業者の参加を促して競争性の確保に取り組む

3. 評議会における支部保険者機能強化予算の策定スケジュール



※ 本部・支部の連携により、支部ごとの課題を明確に共有して課題解決を図ることを目的とした、医療費・健診情報等の分析に基づく支部ごとの現状・課題・重点施策をまとめたシート